

# 令和5年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 田原 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数）

##### 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 児童質問紙調査

##### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

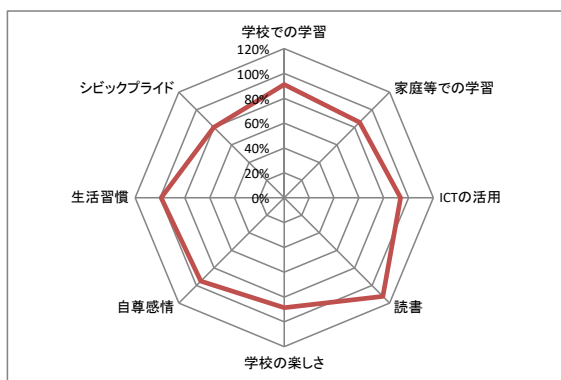
#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識・技能」に関する問題の正答率が高かった。</li> <li>・「書くこと」に関しての正答率が低かった。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」 「原因と結果など情報と情報との関係について理解する」	
	努力が必要な問題	「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」 「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」	
算数	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の正答率が低かった。</li> <li>・「数と計算」「図形」領域の正答率が低かった。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める」	
	努力が必要な問題	「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する」「正方形の意味や性質について理解している」	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約80%の児童が「読書が好き」と回答し、半数程度の児童が「授業時間以外に30分以上読書をしている」と回答している。</li> <li>・ 社会科や総合的な学習の時間を通して北九州市や地域のよさに気付かせることにより、シビックプライドを養っていく必要がある。</li> <li>・ 主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、児童生徒の自己有用感等に影響を与えている可能性があるため、今後も学校全体で授業改善を進め、児童が「わかった」「おもしろい」と思える授業づくりが必要である。</li> <li>・ 学校と家庭が両輪となって児童の家庭学習の充実を図っていく必要がある。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

国語科においては、図表やグラフと文章を関係づけて読み取ったり書いたりする活動を取り入れる。また、文の種類を特徴とともに指導し、各教材文がどの種類に当たるのかを読み取っていくようにする。算数科では、「見通しをもつ→考える→説明する→話し合う→確認する→まとめる・振り返る」の学習サイクルの定着を図り、基礎・基本を確実に身に付けられるようにしていく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

学習内容の例示やノートの使い方等、家庭学習の取り組み方について具体的に示し、保護者にも啓発を行っていく。学校では、がんばりカードの活用やよい取り組みの紹介、頑張った児童への表彰等を行ったりしながら児童を励ましていくようにする。また、家庭との連携を密にし、学校での様子や家庭生活の様子について情報を共有していくようにする。